



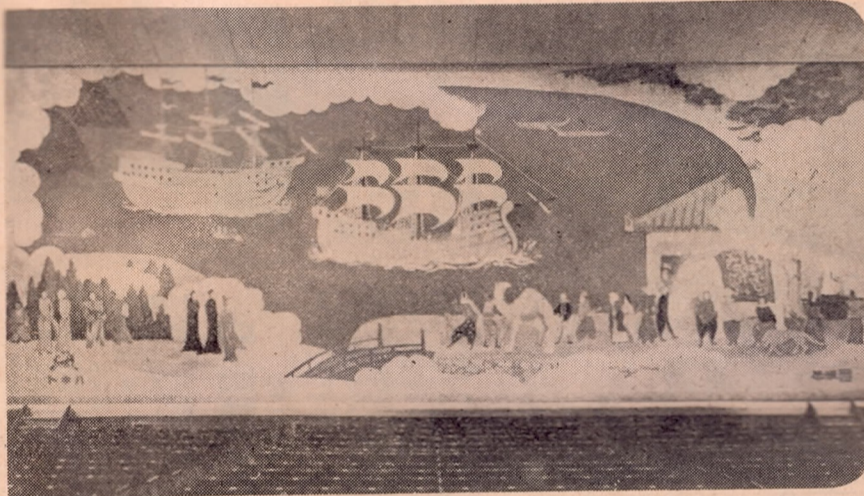


新旧の調和 復元された城壁、角櫓と近代的な文化会館が新旧のすばらしい調和を見せています。

# 文化のかがりただよう大ホール

## 目で見ると大分文化会館

わたしたちが待ちに待った大分文化会館が修復工事の終わった大分城址の一角に完成し、去る10月12日落成式が開かれました。高山画伯の力作、南蛮貿易の風景画を原図に製作したどん張、故朝倉文夫先生の遺作「あこがれ」など文化の殿堂にふさわしいかおりを会館いっぱいにとだよわせています。これからはみなさんの会館として文化向上と福祉の増進に役立ててください。



大友宗麟時代の南蛮貿易を描いたもの。原図は大分市出身の日展審査員、高山辰雄画伯の力作。

### 大ホールのどん帳

（高さ8米、巾22米、重8百キロ）



文化会館の正面ロビーを飾る故朝倉文夫氏の遺作「あこがれ」



児童公園 櫓と城壁にかこまれた総合遊戯器具のある児童公園には元気に遊ぶよこたちがいっぱい。



美しい白鳥 櫓のかけを落したお堀の中を大分ロータリークラブから贈られた白鳥が元気に泳いでいます。



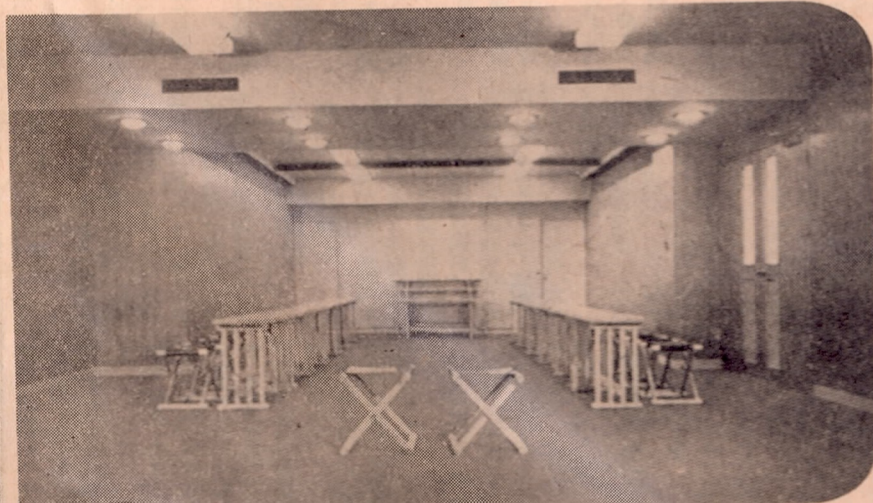
### 素晴らしいN響公演 音響効果も満点

開館式の翌13日こけらおとしの初行事として市主催によるN響の演奏会を開きましたが、岩城宏之氏の指揮による格調高い演奏に二千人の聴衆をみ了しました。演奏会の終了後指揮者の岩城

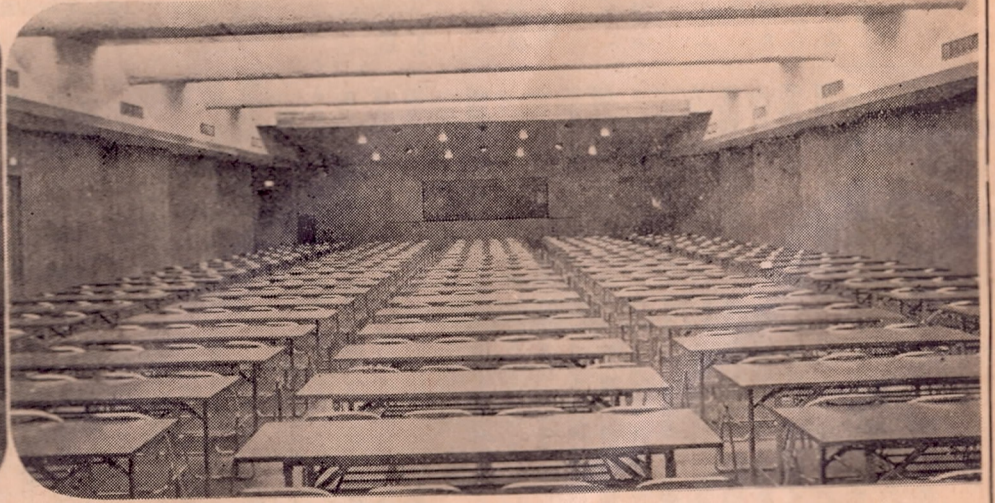
さんは「大分文化会館の音響効果は実に素晴らしい。その他の近代的施設と共に全国でも有数の会館だ」と賞讃していました。同楽団の方々も異口同音に素晴らしい会館だ実によりよかったですと賞めて帰られました。尚当夜の聴衆態度のよさも非常なもので楽壇の人々を深く感動させました。



N響の指揮者 岩城宏之氏



結婚式場 新郎新婦の控室や披露宴場も完備、化粧室の花嫁さんにも披露宴場の祝辞がきこえるようにマイク施設で工夫されています。



会議室（第1小ホール）

このほか展示室（第2小ホール）や郷土資料コーナーもできました。